

# 念仏の声

編集・発行：「御同朋の社会をめざす運動」岐阜教区委員会広報部  
〒500-8882 岐阜市西野町3丁目1 電話(058)262-0231 FAX(058)263-7353  
http://www.hongwanji-gifubetsuin.jp/ E-mail:info@hongwanji-gifubetsuin.jp

2019(令和元年)10月1日発行 vol.243



特集

## お寺が「避難所」になったら… ④

親鸞聖人御誕生850年  
立教開宗800年 についてのご消息 ③

〈実践活動〉赤ちゃんとママが集まるお寺 ⑥

・如燈風中／法要期日決まる ② ・法話「大悲無倦常照我」 ⑦ ・教務所(別院)からのお知らせ ⑧

# 如燈風中



岐阜教区教務所長  
御同朋の社会をめぐる運動  
岐阜教区委員会委員長

泉井敬文

今より846年前の1173(承安3)年、宗祖親鸞聖人は、平安時代の末期にご誕生になりました。その後、1181(養和元)年春のころ、御歳9歳で京都の天台宗青蓮院門跡にて、日も暮れかけた時刻にお得度され、その名を「範宴」と号し、天台宗の僧侶として比叡山で学問と修行に励まれました。

宗祖がご誕生になる少し前の時代の様相は、数百年続いた貴族政権も、元の乱、平治の乱が相次いでおこり、政権の衰退が進む中で、武士の台頭による政権争いが激しさを増す時代でした。

宗祖ご誕生の数年後には、源氏と平氏による争いが起こり、また、干ばつや凶作、飢饉の影響もあり、誰もが今日、明日の我が身の保証もない、不安の中で生きる状況にあったことでしょう。

「明日ありと思ふ心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものは」の詩は、当時の時代背景に鑑みると、僅か9歳の少年期にあった宗祖の、心からの憂えではなかったかと、このお言葉をいただくたびに思います。

宗祖は、81年の仏法求道のご生涯を過ごされる中で、29歳で比叡の山を下り、後に生涯の師と仰がれた源空聖人に師事し、専修念仏(専ら阿弥陀様の願いに従って念仏一行を修め、他の行を修めない)の教えをただ一心に求められました。しかし、専修念仏の停止という弾圧(承元の法難)で、宗祖は越後(新潟県)に流罪となりますが、後には、ご家族と一緒に関東に移り、人々と生活を共にしながら自信教人信(自ら信じ人を教えて信ぜしめる)善導大師(初夜礼讃)の道を歩まれました。晩年は京都で「ご本典(親浄土真実教行証書類)の完成や、三帖和讃(浄土和讃・高僧和讃・正像末和讃)など、多くのご著述をお遺しくださいました。1263年(新暦)、宗祖90歳でのご遷化により、そのお声は遠く無常に隔てられ、直接拝聴することはできませんが、お遺しくださった数々のご著述をもって、今現在も私達に浄土真宗のみ教えをご教示し続けてくださっています。

今、私達が浄土真宗のみ教えに遇わせていただけるのも、宗祖親鸞聖人のご誕生と、仏法求道のご生涯を貫かれたからこそであり、2023(令和5)年、御本山にて勤修されます、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要は、宗祖のご誕生を慶び讃えるご法要として、また、浄土真宗のみ教えが時代を超えて私達に伝えられていることを慶び讃えるご法要として、更には、お念仏の声が次代へと受け継がれるご法要になることを念願し、皆様とご一緒に、ご法要のお待ち受けをしたいと思います。

## 親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

### 法要期日 決まる

2023(令和5)年に親鸞聖人の御誕生850年、その翌年に立教開宗800年をお迎えするにあたり、ご門主様が本年1月9日、御正忌報恩講速夜法要に続いて、御影堂において「ご消息」を發布されました。(左ページ)

「ご消息」発布に伴い4月15日には、立教開宗記念法要(春の法要)に引き続き、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の高札立札式が御影堂門前において執り行われ、5期30日間の法要期日のご治定となりました。

### 法要期日 2023(令和5)年

第1期	3月29日(水)～4月3日(月)
第2期	4月10日(月)～4月15日(土)
第3期	4月24日(月)～4月29日(土)
第4期	5月6日(土)～5月11日(木)
第5期	5月16日(火)～5月21日(日)





## 親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 についての消息

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八百五十年、また、その翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一一七三年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられました。二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿彌陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後に「流罪」になられ、赦免の後は関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立

を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのないおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿彌陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿彌陀如来の願いが、南無阿彌陀仏のお念仏となってはたらき続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿彌陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方ができない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大な慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿彌陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く漸愧せざるをえません。しかし、この漸愧の思いは、阿彌陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。それは、阿彌陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心になう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちがあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八百五十年ならびに立教開宗八百年の慶讃法要をともにお迎えたしましょう。

平成三十一年 一月九日  
二〇一九年

龍谷門主 釋 專 如

# お寺が「避難所」になったら…

## 寺族女性会がHUGで模擬体験

8年前に起きた東日本大震災では、甚大な津波被害が発生したことにより、学校の体育館や公民館など「指定避難所」以外にも、民間施設やお寺など宗教施設が臨時の避難所となって被災者を受け入れました。また昨年7月の西日本豪雨の際にも、多くのお寺が近隣住民の避難所やボランティア活動の拠点として活用され、災害時のお寺の役割に対する行政や地域住民からの期待が大きくなっています。

岐阜教区寺族女性会連盟は、昨年度より「お寺の防災」に関する研修会を連続して開催し、私たちの地域に大規模な災害が発生したとき、お寺に何ができるのかを考えてきました。昨年度の第1回と第2回は、「乾物」を使って簡単に美味しく作れる非常食(左ページ参照)について、DRY and PEACE認定講師の成田奈苗先生から学び、研修会の模様はテレビの情報番組(CBCテレビ「イッポウ」)でも放映されました。

今年度の第3回には、「お寺が避難所になったら？」をテーマに、岐阜大学准教授の小山真紀先生を招いて、カードゲーム「避難所HUG(ハグ)」(下

段参照)を使った避難所運営の模擬体験を行いました。主催した寺族女性会連盟の委員長 岩間尚子さん(中川南組光顔寺坊守)にお話を聞きました。

### ●「災害時のお寺の役割」をテーマに取り上げたいきっかけは何ですか？

防災については、自身の阪神大震災の体験から関心の高い事柄でした。その後も頻発する自然災害報道を見るにつけ、自分たちにできることは何かを考え続けてきました。また昨今、地域でのお寺の役割について様々な模索がされていることから、ひとつの取り組みとしてこのテーマを取り上げました。

東日本大震災や昨年の西日本豪雨災害では、お寺に避難した人が多くいらっしやいました。そこには一般の避難所には無い安らぎがあったそうです。本堂の仏さまの存在が安らぎをもたらしたといいます。折しも岐阜市では、市内寺院に避難所としての協力依頼があり、市と「災害時における施設開放に関する覚書」を交わすことになりました。そんなこともこのテーマを取り上げるきっかけとなりました。

### HUG(ハグ)とは？

もし、あなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すれば良いのでしょうか。

避難所HUGは、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

HUGは、H(hinanzyo 避難所)、U(uei 運営)、G(game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。

避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けました。

(静岡県公式ホームページより)





## 火を使わずにできる カンタン非常食レシピ

乾物を常備し、普段から料理に使うことで、「食の防災訓練」ができます。

### ●切り干し大根とツナ缶のサラダ

【材 料】(2人分)

切り干し大根40g、ツナ缶1缶、塩こしょう適宜、あれば乾燥パセリ

【作り方】

切り干し大根を20分ほど水戻ししてよく絞り、ツナを缶汁ごと煮汁ごと加えて和え、なじむまで数分置く。塩こしょうで味を調え、仕上げに乾燥パセリをふる。

※ゆで干し大根を使うと半分の戻し時間で戻り、より甘く柔らかな食感になります。

### ●クスクスのトマトリゾット風

【材 料】(2人分)

クスクス50g、無塩トマトジュース190g、塩昆布4g、粉チーズ4g、あれば乾燥オレガノ・乾燥パセリ適宜

【作り方】

すべての材料を合わせ、よく混ぜたら20～30分ほど待つだけ。

※クスクスは火が通っているので加熱しなくても食べられるとても便利な食材です。

### ●缶詰フルーツ寒天

【材 料】

好みのフルーツ缶1缶、棒寒天1/2本

【作り方】

棒寒天を水で軽く洗い、絞って細かくちぎり、フルーツ缶の水分で20分ほど戻して頂く。

※甘いものがあると気持ちホッとします。寒天で水溶性の食物繊維も摂取できます。

レシピ提供 成田 奈苗 先生

●「避難所HUG」を体験して、どんなことを感じましたか？

率直な感想として「大混乱が挙げられます。HUGでは避難者をカードで表します。初めに「カードですが、『一人の人』ですから非人道的な扱いはしないように」と前置きされます。しかし、矢継ぎ早にやって来る避難者への対応は、それぞれの事情等を踏まえると、たちまち混乱しました。とにかく避難所の中に入れていくだけではダメなのです。混乱はつきものとはいえ、それをいかに少なく、快適な空間に近づけるのが大切ですが、そうした対応は大変難しいものでした。自分の無力さを思い知り、繰り返し訓練・検証することの重要性を痛感しました。

●参加した皆さんの感想はどうでしたか？

皆さん一様に、事の大変さを思い知ったという感想を持たれました。平常時からの備えの重要性も感じられたようです。自分のお寺の耐震について相談したいという声も聞きました。実際にお寺が避難所になった時、その運営の中心は住職であろうと思いますが、そうばかりでは無いかもしれません。運営は寺族だけで回すことは難しいので、地域の方々との連携についても考える必要があるという感想もありました。仏教婦人会から参加されていた門徒の方は、自分たちの立場で何をすべきか、寺族の方をはじめ、信頼できる仲間との協力の大切さを感じたと仰っていました。

●今後の取り組みについて教えてください

実際に被災し避難となった時、必ずしも自分の所属先に避難するとは限らないし、寺院以外の場所に避難することも想定されます。だからこそ、このような訓練を積んだ方々は避難先でのマンパワーとなり得ます。そのためにも様々な立場の人たちと訓練・検証を繰り返すことが大切だと思います。今回の訓練を体験したのは寺族女性会でしたが、「この場だけではもったいない」という声も多く、教区全体で取り組むことを模索しています。今や自然災害は対岸の火事ではなく、いつわが身に降りかかっても不思議ではありません。一度は体験してもらい、それを各組から各寺院に持ち帰り、それぞれの対策に活かしてもらえると、意味あるものになると思っています。

# 明厳寺「ベビーズ寺子屋」を訪れて



緑豊かな野山に囲まれたのどかなお寺に、小さな子どもや赤ちゃんを連れとお母さんたちが次々と集まってきました。岐阜市則松にある明厳寺で月に一度開かれている子育てサークル「ベビーズ寺子屋」に参加される皆さんです。案内のチラシには「毎日家事や育児をがんばっているお母さんたち。お寺でリフレッシュしませんか？ エネルギーマンっぽいのお子さんたち。みんなで思いっきり遊ぼう！」と書かれています。

取材に訪れた7月16日は18組の親子が参加されました。午前10時から本堂で三帰依文となえた後、親子ふれあい遊び、自己紹介タイム、体操、手遊び、絵本の読み聞かせと、内容は盛りだくさんです。この日は夏の暑い時期ということもあり屋外でのプール遊びもありました。

参加されたお母さんたちの声を聞いてみると、「今回が初めての参加です。きっかけは児童館でチラシを見たことで、そこからインスタグラムを見つけて参加してみました。また来たいと思います」「これまで何度も参加しています。保育所で主催者の方から直接話を聞いたことがきっかけで参加し始めました。普段家では出来ない遊びや水遊びなどもあってありがたいです。これからも続けて来たいです」と話してくれました。「ベビーズ寺子屋」の主催者である明厳寺の高井わかかなさんにお話を伺いました。

**Q** お寺で子育てサークルを始めたきっかけは何ですか？

**A** お寺を、もっと開かれた場所にしたと思うっていました。子育てをするお母さん方は、我が子だけに向き合っていると気持ちが行き詰まってしまう。そのお母さん方にリフレッシュしてもらい、お寺でお子さんと一緒に楽しい時間を過ごしていただけたらと思うて始めました。

**Q** やってみて良かったと思うこと、また苦労していることは何ですか？

**A** やり始めて、若い方も仏教に無関心ではないのだと感じています。本堂に入るとすぐに小さなお子さんと一緒に仏さまに手を合わせる方がおられます。帰りがけに「なんだか、ほっとしました。また来ます」と言っ

**Q** 参加されたお母さんたちの反応はどうですか？

**A** 遠方からの参加者もありますが、最近、近所の方もたくさん来てくださるようになりました。スタッフとしてお手伝いくださる方も増え、お子さん2人を連れとお母さんにも安心して参加してもらえるよう

**Q** お母さんたちと接するときに心掛けていることはありますか？

なってきました。参加者からは、お寺の空間がほっとする、知らない子たちと戯れることができうれしい、スタッフの方が下の子を見ていてくださったから久しぶりに上の子と良い時間を過ごせたといった声が聞かれます。

**A**

誰でもいつでも来て良いのだと知っていただけのように、お友達同士で固まらないようなプログラムを考えています。また、どのお母さんにも声かけするように心掛け、スタッフも、子育て経験者、保健師、保育士など様々で、気楽に子育ての相談に乗れるよう心掛けてくださっています。



# 大悲無倦常照我



誰しも、多かれ少なかれ悩みを抱えています。悩みのその根源は釈尊がおしめしのように、老病死といわれるものにあります。親鸞聖人はこの苦悩、身を煩わし、心を悩ませる煩惱は命終えるその一瞬まで片時も離れることがないとしめされています。それによってまなこさえぎられるがごとく、救わんとする如来の光明に気付かないのです。

親鸞聖人がお書きになられた『正信偈』には、

煩惱、眼を障へて見たてまつらずといへども、大悲、倦きことなくしてつねにわれを照らしたまふといへり。

という御文があります。そして『高僧和讃』にもほとんどそのままの言葉が使われたご和讃があります。これは、源信僧都（九四二〜一〇一七）の『往生要集』のなかに、

われまたかの摂取のなかにあれども、煩惱、眼を障へて、見たてまつることあたはずといへども、大悲倦むことなくして、つねにわが身を照らしたまふ。

という御文をうけて、親鸞聖人が深い感銘を受けられたからではないかといわれているからです。

私たちは、いつも自己中心の思いによってすべての物事を自分本位にゆがめ、煩惱の色眼鏡を通してみています。しかし、自己中心の妄念を破り、煩惱を完全に浄化し、自他の隔てを超えられた如来は大悲、智慧の仏眼をもって私のすべてを見透かしておられます。そして私に愚かさを知らされ、如来を真実と受け容れるところを開かせ、念仏の衆生に育てようと倦み疲れることなく、喚び覚まし続けられているのです。

その如来のはたらきによって、苦悩の原因は他にあるのではなく自らの中にあ

ると気付かされ、めざめさせられ、如来の大悲に見護られながら浄土へ導かれる身と定まっていくなのであります。そのことを「煩惱、眼を障へて、見たてまつることあたはずといへども、大悲倦むことなくして、つねにわが身を照らしたまふ」と仰せられたのでした。

こうして、念仏する者は、如来に見護られていることに安らぎを感じ、浄土を知らないことを嘆かず、浄土へと導かれている身であることを聞いて慶ぶ人生を歩んでいきます。

本願寺派布教使  
丸一組 教泉寺

田下 暁文



## 「西本願寺の時間」

さまざまな布教使によるご法話が聴けます  
岐阜放送 AM1431KHZ  
毎週土曜日 午前6時25分〜6時35分

絶賛放送中

# 寺院備え付けの過去帳等の取扱いについて

数年前にNHKのテレビ番組で、俳優が自らのルーツを探る目的で本願寺派の寺院を訪ねて過去帳の閲覧を求め、「門徒戸数控」を見せられてもらう場面が放映されました。このことは、お寺に行けば過去帳等が簡単に閲覧でき、情報を得られるとの印象を世間与えてしまいました。

この問題の発生を受けた教団の取り組みの一端として、岐阜教区では「過去帳又はこれに類する帳簿の取扱いについて」を今期の重点プロジェクトの実践目標の一つに掲げています。

## 過去帳又はこれに類する帳簿の取扱いについて

過去帳又はこれに類する帳簿(以下「過去帳等」という)の取扱いについて、差別法名・過去帳調査の結果や過去帳等が身元調査に利用されてきたことに対する反省に立ち、同朋教団の本旨並びに人類普遍の原理である平等原則に反しないように、その取扱基準が定められました。

過去帳等は、寺院備付の公的帳簿であり、その取扱責任は、住職(代表役員)にあります。過去帳等の記録は個人情報であり、身元調査に利用されないよう、取扱責任者には守秘義務を守り、過去帳等を厳重に管理する義務があります。

以下の原則を厳守ください。

### 1. 過去帳等とは

ここでいう過去帳等とは、寺院備え付けの過去帳・永代経記録簿・墓地管理簿・門徒現在帳等、門徒の記録簿全般を言います。

### 2. 閲覧禁止(公開の禁止)

過去帳等に記載されている内容は、その個人の基本的な権利に関わる個人情報であり、公開は厳禁とします。

門徒からの問い合わせの場合、書面にてその目的・対象等の明示があったとき、その門徒の直接の先祖に関する抜き書き等に限定して開示できるものとします。

なお、どのような場合にも、「過去帳又はこれに類する帳簿の取扱基準」(以下「取扱基準」)の趣旨に反すると思われる場合は、取扱責任者は、「取扱基準」により開示を拒否しなければなりません。

### 3. 過去帳の記載事項の限定

過去帳に記載すべき事項は、下記に限定されています。

- ①法名 ②俗名 ③死亡年月日 ④性別 ⑤年齢 ⑥施主(喪主)との続柄 ⑦施主(喪主)の現住所

それ以外のことを記載してはいけません。また、基本的な権利を侵害する記載があった場合には、全面的に書き換えなければなりません。

### 4. 過去帳に類する帳簿の記載事項の限定

過去帳等には、人類普遍の原理である平等原則に基づき、門地、本籍地、出生の別、国籍、死因等については、一切これを記載してはなりません。

### ＜記載禁止事項の注意＞

「取扱基準」制定の目的は、第五条の禁止事項(前記4.)を過去帳等に記載しないためです。

・禁止事項の「門地」とは本来、族籍(華族・士族・平民等)の別に言うものですが、現在では「本家」「分家」「資産家」「使用人」などを示す言葉として理解されています。

・「出生の別」とは、嫡出の事情に関わる様々な表現を言います。

## 「子どもたちの笑顔のために募金」 「ご協力をお願い」

宗門では、自他共に心豊かな社会をめざす取り組みの一環として「子どもたちの笑顔のために募金」を行っています。この募金は、国外では海外にある西本願寺の関係機関などと連携して、貧困に苦しむ子どもたちを支援します。また、国内では子ども食堂や学習支援などの活動、児童養護施設などで暮らす子どもたちのために活用いたします。

定期的に『宗報』・本願寺派ホームページなどで取り組み状況をはじめ募金の使途を報告いたします。

### 郵便振替

口座名  
子どもたちの

笑顔のために募金

口座番号

00940・8・282766

※組単位での払い込みの際は、組名を明記してください。  
領収書名を明記してください。

## お知らせ

### 岐阜別院「報恩講法要」のご案内

12月4日(水) 日中法要 午前10時より  
速夜法要 午後1時より

12月5日(木) 日中法要 午前10時より  
速夜法要 午後1時より  
初夜法要 午後7時より

12月6日(金) 日中法要 午前10時より  
講師 東海教区鈴鹿組存仁寺  
本願寺派布教使 山田教尚 師

### 報恩講「聞法のつどい」 12月6日(金)

報恩講日中法要に引き続き  
講師 黒野組仏心寺

本願寺派布教使 坂口祐紹 師  
黒野組専宗寺  
本願寺派布教使 大熊秀基 師  
報恩講講師 山田教尚 師

### 「門信徒のつどい」

2020(令和2)年3月7日(土)

